

ため池の大切さを学ぶ

◎内深田の保福池づくり見学会

箱に土を入れるだけでもひと苦労



「見よう！知ろう！学ぼう！内深田の保福池づくり見学会」は8月22日、保福池「内深田」で行われました。現在、老朽化のため改修工事が行われている保福池を見学し、ため池の構造や役割を学ぶでもらおうと、愛媛県南予地方局が実施した本見学会。参加した好藤小学校の児童や住民たちは、農業、環境保全や防災など、多面的機能の役割があるため池の重要性を学びました。また、児童たちはシヨベルカーなどに乗車したり、手押し車で土を運んだり、実際に行われているため池工事を体験し、力仕事の大変さを体感していました。

大自然の中で夏を満喫

◎せせらぎ魚っちゃんぐ

アマゴを探す来場者たち



8月21日、節安ふれあいの森で日吉一希を起こす会(会長・林健二)が主催する「せせらぎ魚っちゃんぐ」が行われました。町内外から訪れた多くの人で賑わった本イベントでは、アマゴの溪流釣りや、小学生を対象とした「水生生物の勉強会」などが実施され、緑と清流に囲まれた大自然を満喫していました。また、大好評のアマゴのつかみ取りでは、子どもだけでなく大人も夢中になって、アマゴを追いかけていました。やっこの思いでアマゴを捕まえた参加者たちは、満面の笑みを浮かべていました。

親から子へ…受け継がれる壁画

◎歴史をつなぐ壁画修復プロジェクト

丁寧に壁画を塗り直す参加者たち



8月28日、泉小学校で「歴史をつなぐ壁画修復プロジェクト」が行われました。平成6年度の卒業生が、卒業記念として泉小学校裏に制作した壁画。平成18年にも修復作業が行われましたが、それから10年が経過した現在、色落ちが激しくなっていることから、制作した卒業生たちの発案により、今回の塗り直し作業が実施されました。厳しい暑さの中で、制作した卒業生、在校生や保護者など約20人が、丁寧に壁画を塗り直す作業を行いました。卒業生の中には、保護者として参加している人もおり、時の流れを実感していました。

大迫力のフルオーケストラ演奏

◎京都大学交響楽団演奏旅行公演 in きほく

迫力満点の演奏で来場者を魅了



「京都大学交響楽団演奏旅行公演 in きほく」は8月26日、広見中学校体育館で行われました。創立100年の歴史をもつ京都大学交響楽団が、毎年夏季休暇中に行っている演奏旅行。今年も中国・四国地方の各地で実施され、当町でも公演が行われました。100人を超えるフルオーケストラで演奏されたのは、一度は耳にしたことのあるクラシック曲や、アニメの曲。演奏終了後には、スタンディングオベーションをする来場者も続出するほど、訪れた人の心を揺さぶるダイナミックな演奏が会場中に響き渡っていました。